

令和6(2024)年度事業実施報告

NO.	公募時				年次計画内容	実施結果				
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数		実施内容	参加人数	実施回数		
【本来事業】										
1	在住外国人参画企画イベント 地域住民と在住外国人との交流イベント	外国人支援委員会に参画して、外国人の意見を反映したイベントの開催。 芦屋市民と市内在住外国人とが英語で交流する場を提供。 芦屋市民と市内在住外国人とが日本語で交流する場を提供。	毎年	3回以上	外国人支援委員会に参画して、外国人の意見を反映したイベントの開催。 コスモかふえ 英語版、コスモかふえ 日本語版 ほか	外国人支援委員会に参画している外国人企画「外国人がわかるイベント紹介のライン」を開設した。 コスモかふえ 英語版、コスモかふえ 日本語版をそれぞれ1回ずつ開催した。	102人	3回		
4	日本語ボランティア講師養成・研修	外部の専門講師の指導を受け、質の高い日本語を教えられるボランティア講師を養成。 市内のボランティア日本語講師向けにブラッシュアップ研修を行い、高いレベルを維持しながら学習者に日本語を教えられることを目指します。	毎年	2回以上	外部の専門講師の指導を受け、質の高い日本語を教えられるボランティア講師を養成。 市内のボランティア日本語講師向けにブラッシュアップ研修を行い、高いレベルを維持しながら学習者に日本語を教えられることを目指します。	日本語ボランティア養成講座全7回コースを1回、ブラッシュアップ研修1回を開催した。	89人	2回		
5	災害時外国人協力者の育成・研修				災害時外国人協力者の育成・研修	外国人ボランティアを自治会が開催する防災訓練に参加させ、簡易ベットの組み立て、炊き出し、放水体験をした。			10人	1回
6	外国語の翻訳・通訳ボランティア養成・研修				外国語の翻訳・通訳ボランティア養成・研修					
7	多文化共生に関する情報提供SNS利用	多文化共生に関する各種情報を収集し、幅広い層へ情報を提供。	随時		多文化共生に関する各種情報を収集し、幅広い層へ情報を提供。	多文化共生に関する各種情報を収集し、幅広い層へ情報を提供した。	-	随時		
8	国際理解(多文化共生)講演会	諸外国の実情の理解を深める内容や世界平和に役立つ内容など市民が大きな関心を寄せるテーマに関するセミナーを開催。	毎年	1回	諸外国の実情の理解を深める内容や世界平和に役立つ内容など市民が大きな関心を寄せるテーマに関するセミナーを開催。	「アフリカデーインあしや」としてJICA関西所長のアフリカに関する講演とアフリカン音楽とダンスで異文化理解を図った。	170人	1回		
9	日本語教室	市内在住の外国人に対して、日本での生活がスムーズに送れるように、日常会話の習得を目的とした日本語教室を実施。学習者のニーズに応じたレベル・内容をマンツーマンで指導。	毎年	週4日全5クラス	市内在住の外国人に対して、日本での生活がスムーズに送れるように、日常会話の習得を目的とした日本語教室を実施。学習者のニーズに応じたレベル・内容をマンツーマンで指導。	週4日全5クラス	1,406人	703回		
10	こども日本語教室	小学生を対象にした、日本語学習のサポート。	毎年	週1日全1クラス	小学生を対象にした、日本語学習のサポート。	週1日全1クラス	470人	41回		
11	市内在住外国人向け多言語防災情報の提供	芦屋市が発信する防災情報や内閣府ホームページの防災情報を常に確認し、新しい情報をキャッチして潮芦屋交流センターのホームページにやさしい日本語と多言語で掲載。	随時		芦屋市が発信する防災情報や内閣府ホームページの防災情報を常に確認し、新しい情報をキャッチして潮芦屋交流センターのホームページにやさしい日本語と多言語で掲載。	芦屋市が発信する防災情報や内閣府ホームページの防災情報を常に確認し、新しい情報をキャッチして潮芦屋交流センターのホームページにやさしい日本語と多言語で掲載。	-	随時		
12	市内在住外国人向け防災教室	シェイクアウト訓練や避難場所の確認など、実践的な講座を実施。	毎年	1回	シェイクアウト訓練や避難場所の確認など、実践的な講座を実施。	市内日本語教室(ふるさと)と共催で「外国人親子で楽しむ料理教室&防災教室」を開催した	28	1回		

13	多言語相談窓口	英語は随時、中国語は土日曜、スペイン語は予約制、芦屋大学と連携して留学生を外国人有償ボランティア通訳者として活用してベトナム語、ネパール語、インドネシア語等で対応します。更に、音声自動翻訳機を導入して多言語対応も可能にします。 社会福祉協議会と協働で年に1回多言語（英語・中国語・スペイン語・ベトナム語・その他1言語）による相談会を開催します。	毎年	言語月1回以上	英語は随時、中国語は土日曜、スペイン語は予約制、芦屋大学と連携して留学生を外国人有償ボランティア通訳者として活用してベトナム語、ネパール語、インドネシア語等で随時対応します。更に、音声自動翻訳機を導入して多言語対応も可能にします。 社会福祉協議会と協働で年に1回多言語（英語・中国語・スペイン語・ベトナム語・その他1言語）による相談会を開催します。	英語は随時、中国語は土日曜、スペイン語は予約制、芦屋大学と連携して留学生を外国人有償ボランティア通訳者として活用してベトナム語、ネパール語、インドネシア語等で随時対応した。相談件数は年間22件。 相談窓口通訳者は初級編研修1回、上級編研修1回を受講。初級編研修には日本語ボランティア、芦屋市国際交流協会理事、監事も参加した。	96人	各言語月1回以上
14	姉妹都市交流	学生親善使節交換事業	毎年	1回	学生親善使節交換事業	別紙「SA事業報告」参照	801	1回
15	姉妹都市交流	姉妹都市提携周年事業（モンテペロ市民訪問団受け入れ）	令和8年	1回	-	-	-	-
16	姉妹都市の情報提供	姉妹都市交流の歴史や事業について、市民の関心と理解を深めてもらうべく、情報掲示板・情報コーナーなどを利用して情報を提供します。	毎年	1回	姉妹都市交流の歴史や事業について、市民の関心と理解を深めてもらうべく、情報掲示板・情報コーナー、広報あしやなどを利用して情報を提供します。	広報あしや1月号に姉妹都市学生親善使節の特集記事を掲載したほか、学生親善使節募集と決定者の紹介、ホストファミリー募集、交流イベントなども広報あしやに掲載した。	-	1回
17	国際交流関係団体等のマネジメント	・日本語ボランティアの能力向上を図るため、市内教室運営団体と連携し、「日本語ブラッシュアップ研修」を開催し、活動を支援します。 ・市内の日本語教室運営団体と連携し、日本文化を紹介する教室（茶道・書道・華道）を開催します。 ・阪神間国際交流協会（阪神・丹波ブロック会議）、ひょうご国際交流団体連絡協議会で、国際交流に関する活動情報を共有し、センターでの活動に活用します。 ・芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会の委員として、外国にルーツを持つ子どもたちの支援に取り組みます。	随時		・日本語ボランティアの能力向上を図るため、市内教室運営団体と連携し、「日本語ブラッシュアップ研修」を開催し、活動を支援します。 ・市内の日本語教室運営団体と連携し、日本文化を紹介する教室（茶道・書道・華道）を開催します。 ・阪神間国際交流協会（阪神・丹波ブロック会議）、ひょうご国際交流団体連絡協議会で、国際交流に関する活動情報を共有し、センターでの活動に活用します。 ・芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会の委員として、外国にルーツを持つ子どもたちの支援に取り組みます。	「日本語ブラッシュアップ研修」に市内日本語ボランティア教室の運営団体から2名が参加し活動を支援した。市内日本語学校「芦屋国際学院」から109名の学生が茶道体験をした。ひょうご国際交流団体連絡協議会に2回参加した。 精道小学校とモンテペロ市3校との交流を担った。 県立芦屋高校から生徒4名と引率教師1名の訪問があり、姉妹都市交流事業を中心に国際交流について紹介した。 芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会に2回参加、芦屋市外国人関係団体会議に1回参加した。	-	随時
18	施設パンフレット	英語版、やさしい日本語版、中国語版を作成し利用促進を図ります。	令和6年	1回	英語版、やさしい日本語版、中国語版を作成し利用促進を図ります。	英語版、やさしい日本語版、中国語版を作成し利用促進を図った。	-	1回
19	施設のホームページ運営	施設のホームページ運営（やさしい日本語、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語）	随時		施設のホームページ運営（やさしい日本語、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語）	施設のホームページを多言語化（やさしい日本語、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語）した。	-	随時

20	施設の提供に関する事	意見箱、アンケート、OJT研修、定例ミーティング 利用率向上の為の工夫:トーナメント試合を開催 してテニス利用を呼び込む。施設利用の当日分 の申し込みを電話で受付可能にします。	随時		意見箱、アンケート、OJT研修、定例ミーティング 利用率向上の為の工夫:トーナメント試合を開催 してテニス利用を呼び込む。施設利用の当日分 の申し込みを電話で受付可能にします。	意見箱、アンケート、OJT研修、定例 ミーティングを行った。 利用率向上の為の工夫:トーナメント 試合を開催してテニス利用を呼び込 んだ。施設利用の当日分の申し込み を電話で受付可能にした。	-	随時
【自主事業】								
1	世界の料理教室	「作って食べよう世界の料理」をキャッチフレーズ に、世界の国々の代表的な料理に加えて異国の 文化や習慣などを市内在住外国人からその国の 紹介をしていただく教室。	毎年	月1回 (除8月、1 月)	4月「コスタリカ編、5月「イギリス編」、6月「ロシア 編」 以降未定	4月「コスタリカ編、5月「イギリス編」、 6月「ロシア編」、7月「イタリア編」、9 月「フランス菓子」、10月「モロッコ 編」、11月「フィリピン編」、12月「アメ リカパーティー編」、2月「インド編」、3 月「ウクライナ編」	220人	月1回 (除8月、1月) 全10回
2	潮芦屋セミナー	市民により広い視野を持ってもらえるよう国際時 事、人生談義、趣味の世界、最新技術などのセミ ナーを開催。講師は、外国人、実業家、学識経験 者など。	毎年	2回	4月「ウクライナと日本の交流」、6月「英語落語」	4月「ウクライナと日本の交流」、6月 「英語落語」	112人	2回
3	潮芦屋コンサート	市民に気軽に世界の音楽を楽しんでもらうよう、ク ラシック、ハワイアン、ジャズ、ポピュラー、ロック、邦 楽演奏まで、幅広いジャンルのコンサートを開催 し、芦屋市の文化レベルをさらに高めることを目 指します。	毎年	3回	7月「ハワイアン」、12月「ジャズ」、以降未定	7月「ハワイアン」、12月「ジャズ」、3 月「スプリングコンサート」	274人	3回
4	ワールドフェスタ	オータムフェスタと連携して、コンサートと世界の料 理をコラボレーションさせて市民に提供します。	毎年	1回	10月ワールドフェスタ「ステージと世界の料理、世 界の雑貨の買い物を楽しむ」	世界の料理と茶菓「ベトナム、スペイ ン、台湾、中国、モンゴル、韓国、日本、 スリランカ」 ステージ「馬頭琴、コーラス、ハンドベ ル、ストリートダンス」 スリランカ雑貨販売とバザー開催 茶道教室学習者によるお茶席の開催	1,002人	1回
5	英会話教室	外国人講師による英会話教室の開催。	毎年	週4日全5 クラス	外国人講師による英会話教室の開催。	外国人講師による英会話教室を開催 した。	1,362人	174回
6	英語教室	日本人講師によるトラベル英語、初級英語教室の 開催。	毎年	週2日全2 クラス	日本人講師によるトラベル英語、初級英語教室の 開催。	日本人講師によるトラベル英語、初級 英語教室を開催した。	409人	71回
7	日本伝統文化教室	芦屋市に在住する外国人に対して、日本の伝統 文化に触れてもらう機会をつくる(華道、茶道、書 道)。	毎年	各6回	芦屋市に在住する外国人に対して、日本の伝統 文化に触れてもらう機会をつくる(華道、茶道、書 道)。	芦屋市に在住する外国人に対して、日 本の伝統文化に触れてもらう機会を つくれた。(華道、茶道、書道)。	華道31人 茶道175人 書道35人	華道8回 茶道11回 書道10回

8	やさしい日本語講座と普及活動	ボランティアが必要な情報をやさしい日本語で発信できるように研修する。また、芦屋市民向けに「やさしい日本語」を学んでいただける教室の開催。	毎年	1回	ボランティアが、必要な情報をやさしい日本語で発信できるように研修する。また、芦屋市民向けに「やさしい日本語」を学んでいただける教室の開催。	兵庫県国際交流協会のやさしい日本語普及事業の講師派遣制度を利用して「やさしい日本語講座」を開催し、養成講座修了者および一般市民が参加した。	16人	1回
9	外国人向け情報紙の発行	「コスモジャーナル」として外国人に周知したい記事や役立つ内容をやさしい日本語で発行。ホームページに掲載することで、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語変換も可能にする。	毎年	6回	「コスモジャーナル」として外国人に周知したい記事や役立つ内容をやさしい日本語で発行。ホームページに掲載することで、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語変換も可能にする。	6月、8月、10月号を発行した。紙媒体で情報を得る人が減ったことで以降は廃刊とした。	13人	3回
10	文化イベント	市内在住外国人に対して、日本の伝統文化に触れ、理解してもらうためのイベントの開催。	毎年	1回	市内在住外国人に対して、日本の伝統文化に触れ、理解してもらうためのイベントの開催。	「セタまつり」を開催、日本語スピーチ大会も同時開催した。	68人	1回
11	体験学習（施設見学）	国際交流のための日帰りの施設見学（体験学習などを含む）を実施。	毎年	1回	国際交流のための日帰りの施設見学（体験学習などを含む）を実施。	外国人支援委員の外国人委員が企画した「芦屋市図書館訪問」を実施。こども司書による読み聞かせと図書館の利用方法を学んだ。	30人	1回
12	施設活用事業の住民との協働	地域住民との懇話会を開催し、協働で施設を活用した事業の取り組みを目指す。	毎年	1回	地域住民との懇話会を開催し、協働で施設を活用した事業の取り組みを目指します。	地域住民・団体グループ「潮芦屋元気の会」の定例会1回/月に参加し、11月「秋祭り」、1月「餅つき」にメンバーとして活動した。3月には潮見小学校の多文化共生授業の出張授業を担った。	100人	10回
13	地域ボランティア活動との連携	「ひとりり役活動」と連携して潮芦屋交流センターのガーデンを地域住民と在住外国人に開放し、ボランティアガーデナーとして活用することで、相互の交流を図ります。	毎年	随時	「ひとりり役活動」と連携して潮芦屋交流センターのガーデンを地域住民と在住外国人に開放し、ボランティアガーデナーとして活用することで、相互の交流を図ります。	「ひとりり役活動」と連携し、2月、3月のイベント設営を担って頂いた。近隣住民によるボランティアガーデナーがセンターの花壇とモンテペロ50周年記念バラの手入れを定期的にして頂いた。	17人	随時